

**京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書**

2019年 9月 27日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科 医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科

職 名・学 年 研究生

氏 名 金丸 良徳

助成の種類	2019年度 ・ 国際研究集会発表助成	
研究集会名	55th European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting	
発表形式	<input type="checkbox"/> 招待 ・ <input type="checkbox"/> 口頭 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他()	
発表題目	Deficiency of Glucose-dependent insulinotropic polypeptide(GIP) secretion alleviates increasing obesity and insulin resistance with aging	
開催場所	Fira Barcelona Gran Via, Barcelona, Spain	
渡航期間	2019年 9月 16日 ～ 2019年 9月 22日	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有()	
会計報告	交付を受けた助成金額	300,000円
	使用した助成金額	300,000円
	返納すべき助成金額	0円
	助成金の使途内訳	航空費 215,330円
		宿泊費 82,145円
		学会参加費 12,045円
(助成金を上記に充当)		
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) スペインは国内の祭りの時期および治安の関連で物価・宿泊費も高額でしたので、助成金をいただくことができ大変助かりました。ありがとうございました。	

成果の概要

医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学
研究生 金丸良徳

参加国際会議

55th European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting

開催期間 2019年9月16日～2019年9月22日

開催場所 Fira Barcelona Gran Via, Barcelona, Spain

【国際会議の概要】

今回で55回目となる European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting は糖尿病学における世界最大規模の学術集会である。例年、欧州各国からのみならず、全世界から参加者が集まります。臨床、基礎研究含め多岐にわたる分野から糖尿病学に関する最新の知見・トピックが得られます。また積極的なディスカッションが学会会場の至るところで行われ、研究者同士の交流や情報交換も期待される場所でもあります。

【発表及び本会議参加を通じて】

今回、私は Deficiency of Glucose-dependent insulinotropic polypeptide (GIP) secretion alleviates increasing obesity and insulin resistance with aging という演題で、経年に伴う GIP の影響に関する研究をポスターで発表しました。発表5分、ディスカッション2分でしたが、GIP と加齢・体温に関する質問や、炭水化物摂取と加齢・体重変化の出現するタイミングについての質問などをいただき、脂質摂取と炭水化物摂取の体重やGIPに対する影響の違いや、加齢の影響などを踏まえつつ海外の研究者と議論することができました。これまで経年に伴う GIP に関する研究報告は少なかったこともあり、海外の研究者から興味・関心を持っていただき、議論できたことは今後のモチベーションに繋がると考えられました。また発表したセッションは自身の研究するインクレチンのみに特化したセッションとなっており、発表者のみならず聴衆からもインクレチン研究に対する大きな熱意が伝わってきて、その雰囲気の中で発表・議論できたこと、そこで得た新たな知見や様々な研究手法を今後の研究に役立てればと考えています。会場内のそのほかの基礎研究ポスターセッション

においても小生の研究テーマとする肥満・インスリン抵抗性・食事に関する様々な研究報告がされており、今後の参考に活かせればと考えています。

今回基礎研究における発表・議論を目的として国際学会に参加させていただいたが、臨床医学に関しても、様々な報告がされていました。特に興味・関心のある妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠に関する報告が非常に興味深く、空腹時血糖値や食後血糖値と評価・インスリン導入のタイミングや胎児への影響などの数多くの報告があり、疑問に感じていたことがクリアになり、基礎研究だけでなく、臨床に関する最新の知見を得ることができ、非常に有意義でした。

今回の学会開催地のスペインは観光地としてももちろん有名ではありましたが、肉料理・魚介類、パエリアなどの米類の食事は非常に日本人の好みにも合うものであったと感じました。ただ観光客も多く、治安の不安もあったため、気を使う必要がありました。

【謝辞】

今回、京都大学教育研究振興財団の助成により本学会に参加・発表することで今後につながる非常に有意義な経験をさせていただいたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。